

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

## ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。  
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット  
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）  
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

$\mu$ PC2800,  $\mu$ PC2801

## 赤外線リモート・コントロール用プリアンプ

$\mu$ PC2800,  $\mu$ PC2801は赤外線リモート・コントロール・システムの受信プリアンプ用に開発された半導体集積回路です。受光ダイオードを直結することができ、受信プリアンプに必要な高利得初段アンプ、リミッタ、バンド・パス・フィルタ、検波回路、波形整形回路を1チップに内蔵しています。

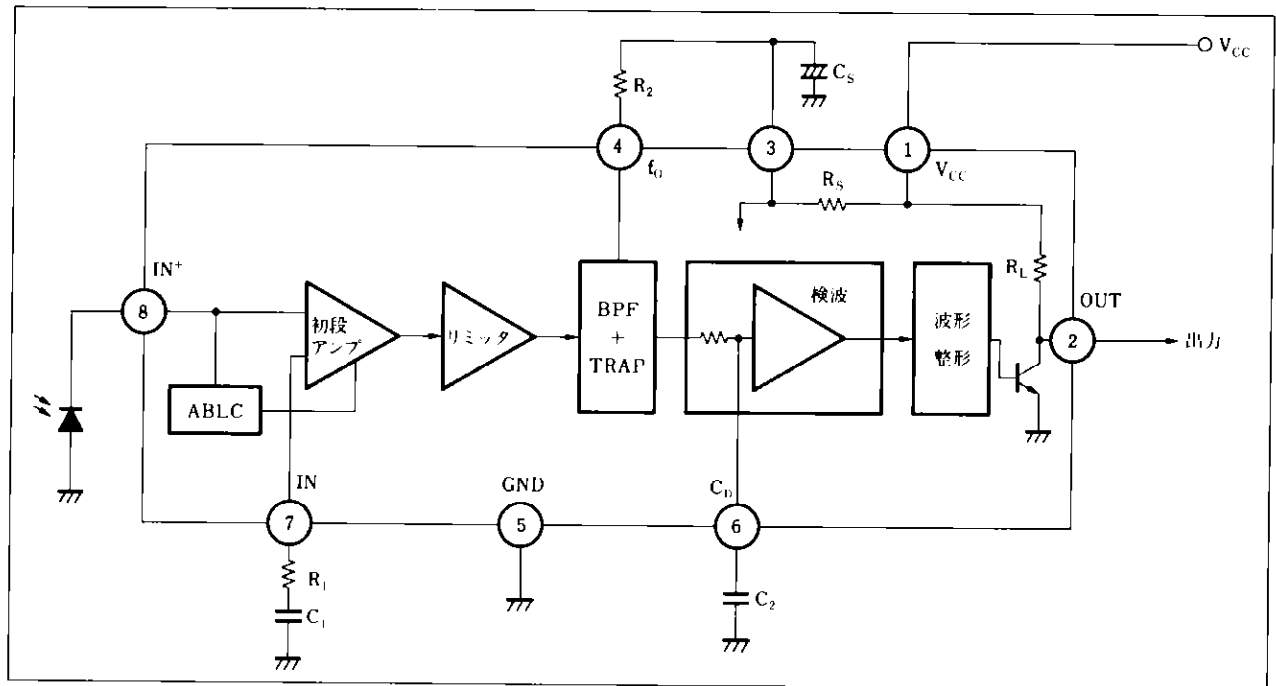
## 特 徴

- 高周波点灯蛍光灯による誤動作が少ない  
高域トラップ回路内蔵
- バンド・パス・フィルタ内蔵  
外付け抵抗により中心周波数可変可能： $f_0=30\sim 80$  kHz  
 $f_0$ トリミングにより中心周波数のバラツキが少ない
- 外付け部品が少ない  
出力プルアップ抵抗、電源フィルタ抵抗を内蔵  
外付けコンデンサの小容量化
- オープン・コレクタ出力  
プルアップ抵抗付きオープン・コレクタ出力  
 $\mu$ PC2800：アクティブ・ロウ出力  
 $\mu$ PC2801：アクティブ・ハイ出力

## オーダー情報

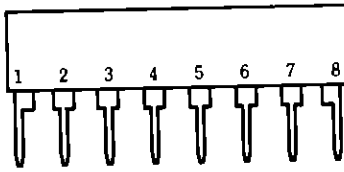
オーダー名称	パッケージ
$\mu$ PC2800HA	8ピン・プラスチック・スリム SIP
$\mu$ PC2800GR	8ピン・プラスチック SOP (225 mil)
$\mu$ PC2801HA	8ピン・プラスチック・スリム SIP
$\mu$ PC2801GR	8ピン・プラスチック SOP (225 mil)

ブロック図

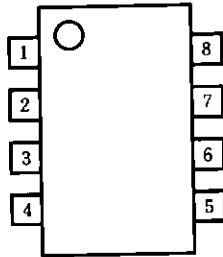


端子接続

SIP



SOP



番号	記号	内 容
1	V <sub>CC1</sub>	電源入力端子
2	OUT	出力端子
3	V <sub>CC2</sub>	電源出力端子
4	f <sub>0</sub>	バンド・パス・フィルタ周波数設定端子
5	GND	グランド端子
6	C <sub>D</sub>	検波コンデンサ接続端子
7	IN <sup>-</sup>	初段アンプ・ゲイン設定端子
8	IN <sup>+</sup>	入力端子

端子機能

○電源端子 (V<sub>CC1</sub>…1ピン, V<sub>CC2</sub>…3ピン, GND…5ピン)

1ピンに5V±10%の電圧を印加してください。内蔵の電源フィルタ抵抗を通して3ピンに出力されるので、3ピンに電解コンデンサを接続してください。

○入力端子 (IN<sup>+</sup>…8ピン)

内部インピーダンスは45kΩ (TYP.)で、直接PIN受光ダイオードを接続できます。外来光により入力レベルが飽和するのを防ぐためにABL (Automatic Bias Level Control)回路が入っており、強い外来光に対してこの回路が動作し入力端子のバイアス・レベルを安定化します。

○初段アンプ・ゲイン設定端子 (IN<sup>-</sup>…7ピン)

初段アンプの差動反転入力で、外付けインピーダンスによりゲインの設定ができます。

○バンド・パス・フィルタ周波数設定端子 (f<sub>0</sub>…4ピン)

バンド・パス・フィルタの中心周波数は外付け抵抗の値により可変することができます。また、高周波点灯蛍光灯による誤動作を避けるための高域トラップ回路を内蔵しています。

○検波コンデンサ接続端子 (C<sub>D</sub>…6ピン)

検波コンデンサを接続する端子です。

○出力端子 (OUT…2ピン)

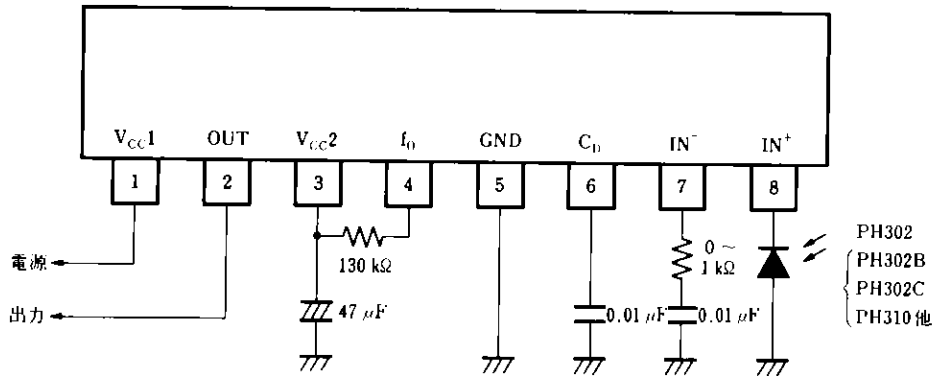
プルアップ抵抗内蔵のオープン・コレクタ出力です。CMOSあるいはTTLを直接ドライブできるので、受信用マイコンとの接続が容易です。

μPC2800はアクティブ・ロウ出力, μPC2801はアクティブ・ハイ出力です。

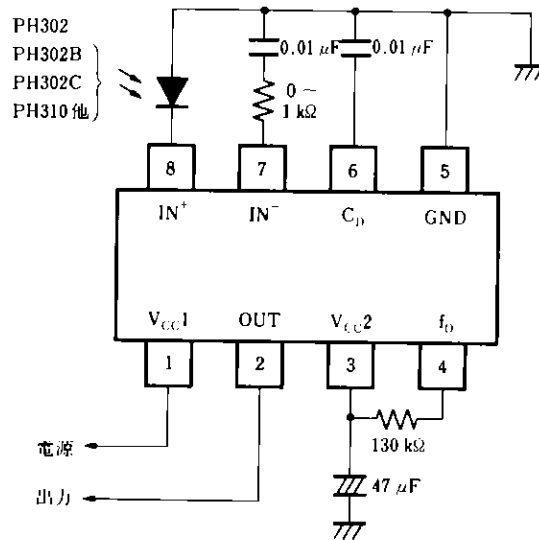
保守/廃止

応用回路例

① 8ピン・プラスチック・スリムSIP



② 8ピン・プラスチックSOP



本資料に掲載の応用回路および回路定数は、例示的に示したものであり、量産設計を対象とするものではありません。

**保守/廃止**

絶対最大定格 (T<sub>a</sub> = 25 °C)

項目	略号	定 格	単 位
電 源 電 圧	V <sub>CC</sub>	6.0	V
出 力 電 流	I <sub>OUT</sub>	2.5	mA
入 力 電 圧	V <sub>IN</sub>	0 ~ V <sub>CC</sub>	V
パッケージ許容損失	P <sub>D</sub>	270	mW
動 作 温 度	T <sub>opt.</sub>	-20 ~ +75	°C
保 存 温 度	T <sub>stg.</sub>	-40 ~ +125	°C

推奨動作範囲

項目	略号	MIN.	TYP.	MAX.	単 位
電 源 電 圧	V <sub>CC</sub>	4.5	5.0	5.5	V
入 力 周 波 数	f <sub>IN</sub>	30	38	80	kHz

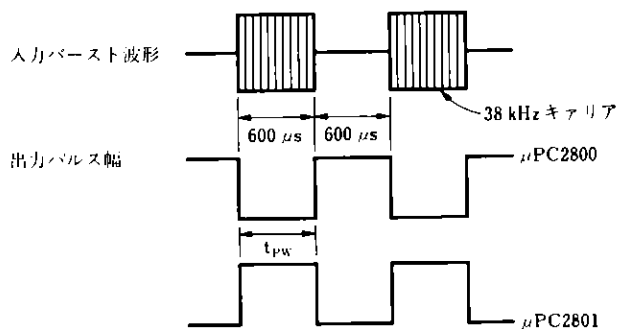
電気的特性 (T<sub>a</sub> = 25 °C, V<sub>CC</sub> = 5.0 V)

項目	略号	条 件	MIN.	TYP.	MAX.	単 位
電 源 電 流	I <sub>CC</sub>	μPC2800		2.1	2.8	mA
		μPC2801		2.4	3.1	mA
入 力 端 子 電 圧	V <sub>IN1</sub>	I <sub>IN</sub> = 0	2.0	2.5	3.1	V
入 力 端 子 電 圧	V <sub>IN2</sub>	I <sub>IN</sub> = -300 μA	0.6	0.8	1.7	V
電 圧 利 得	A <sub>V</sub>	f <sub>IN</sub> = 38 kHz CW, V <sub>IN</sub> = 30 μV <sub>P-P</sub>	76	80	84	dB
BPF 帯 域 幅	f <sub>BW</sub>	-3 dB 帯域幅, V <sub>IN</sub> = 30 μV <sub>P-P</sub>	2.0	2.5	3.0	kHz
入 力 内 部 抵 抗	r <sub>IN</sub>	f <sub>IN</sub> = 38 kHz CW, V <sub>IN</sub> = 0.2 V <sub>P-P</sub> (注1)	30	45	62	kΩ
出 力 パルス幅 1	t <sub>PW1</sub>	f <sub>IN</sub> = 38 kHz バースト波, V <sub>IN</sub> = 500 μV <sub>P-P</sub> (注2)	440		770	μs
出 力 パルス幅 2	t <sub>PW2</sub>	f <sub>IN</sub> = 38 kHz バースト波, V <sub>IN</sub> = 50 mV <sub>P-P</sub> (注2)	440		770	μs
ロウ・レベル出力電圧	V <sub>OL</sub>			0.2	0.4	V
ハイ・レベル出力電圧	V <sub>OH</sub>		4.8	5.0		V

(注1) 入力レベルを V<sub>IN</sub>, 測定値を V<sub>X</sub> とすると

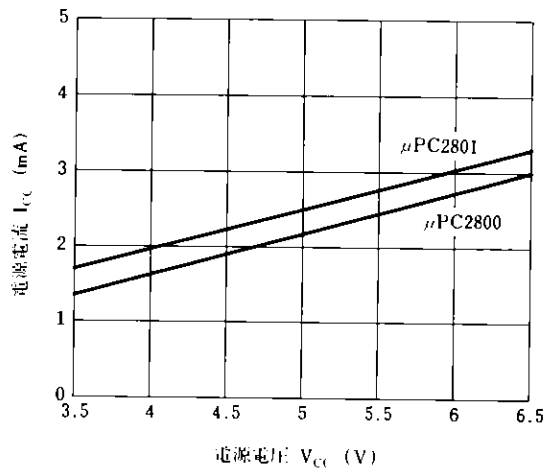
$$r_{IN} = \frac{47}{V_{IN}/V_X - 1} \text{ (k}\Omega\text{)}$$

(注2)

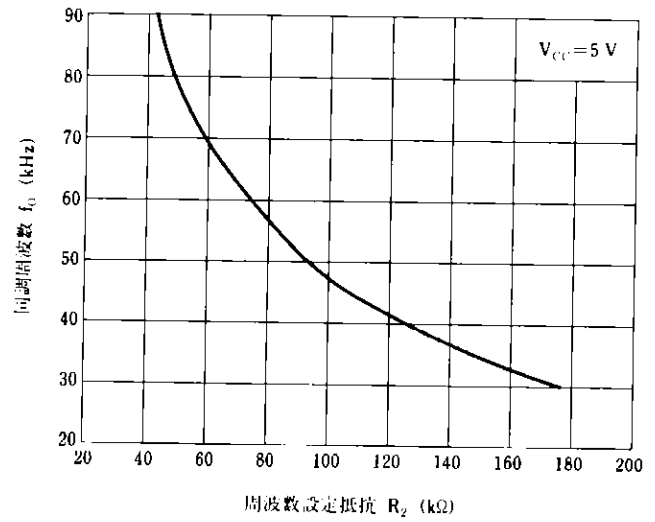


特性曲線 ( $T_a = 25^\circ\text{C}$ )

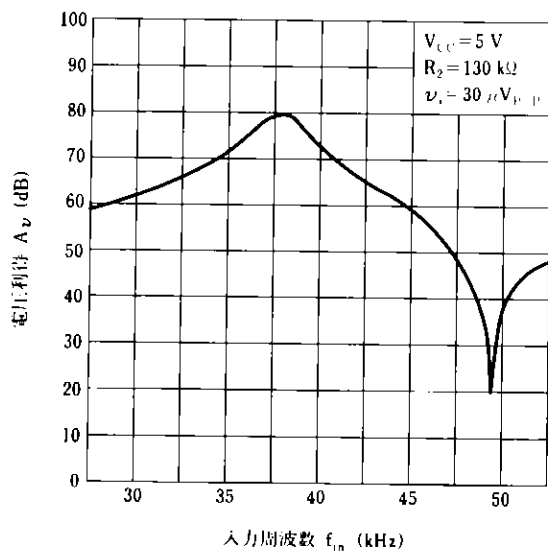
$I_{CC} - V_{CC}$  特性



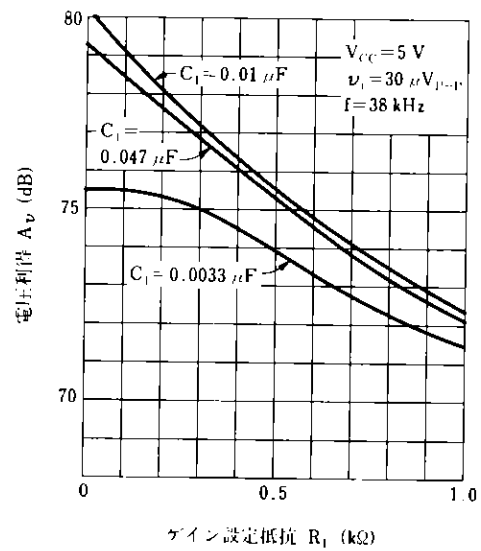
$f_0 - R_2$  特性



$A_v - f_{in}$  特性



$A_v - R_1$  特性





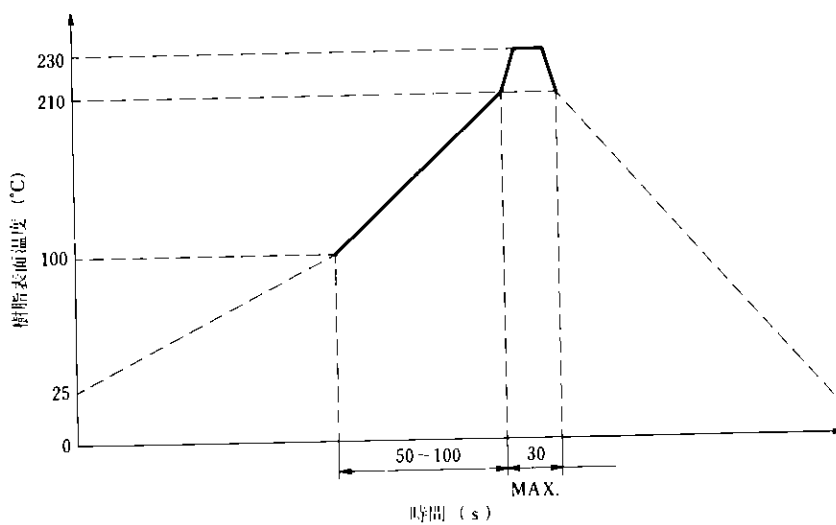
ミニフラットパッケージ実装条件

ミニフラットパッケージを実装するには必ず手づけもしくは、半田リフローにて行ってください。半田リフローの推奨条件を下記に示します。

推奨条件

- ピーク温度 230℃以下（樹脂表面温度）
- 時間 30秒以内（樹脂表面温度が210℃となる時間）
- リフロー回数 1回
- フラックス 塩素分の少ないロジン系フラックス（塩素分0.2%以下）を推奨いたします。

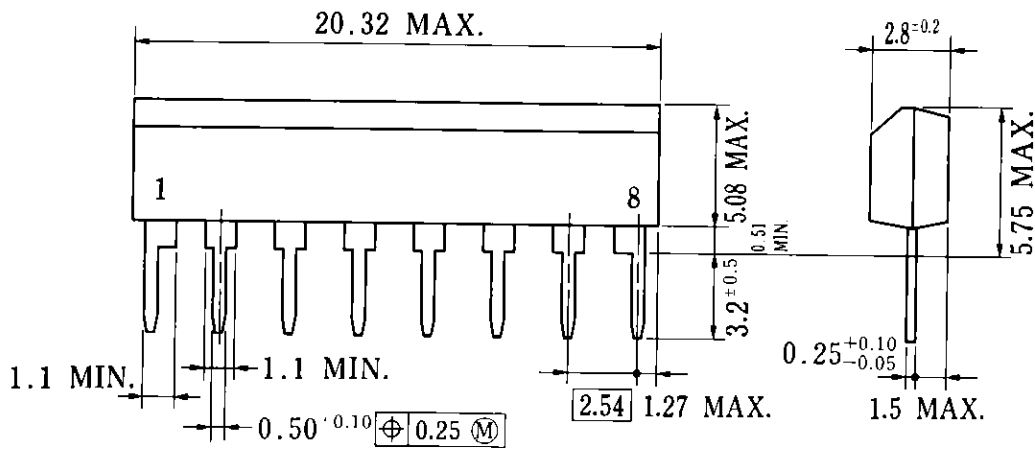
図1 半田リフロー温度プロファイル



なお、半田実装後、残留フラックスをそのままにしておくと、部品や基板導体部を腐食させたり絶縁低下をまねく等の好ましくない現象を生じる場合があるため、必ずフラックス洗浄をし、除去してください。

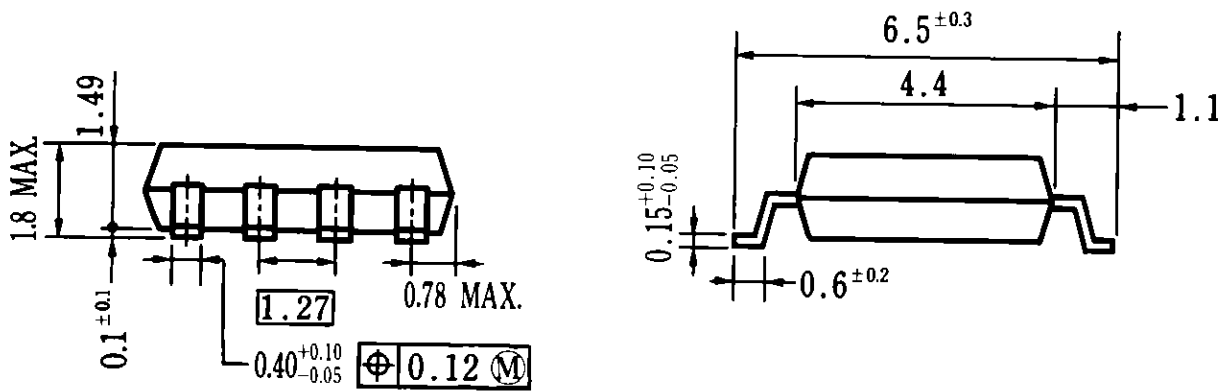
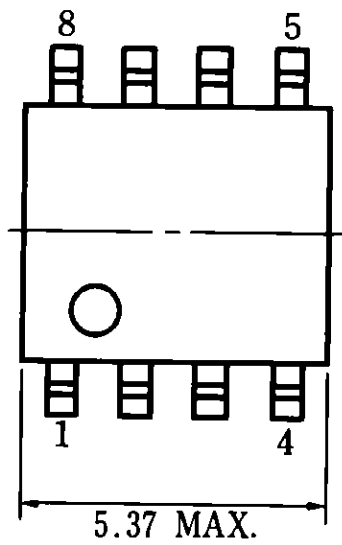
**保守/廃止**

8ピン・プラスチック・スリム SIP 外形図(単位: mm)

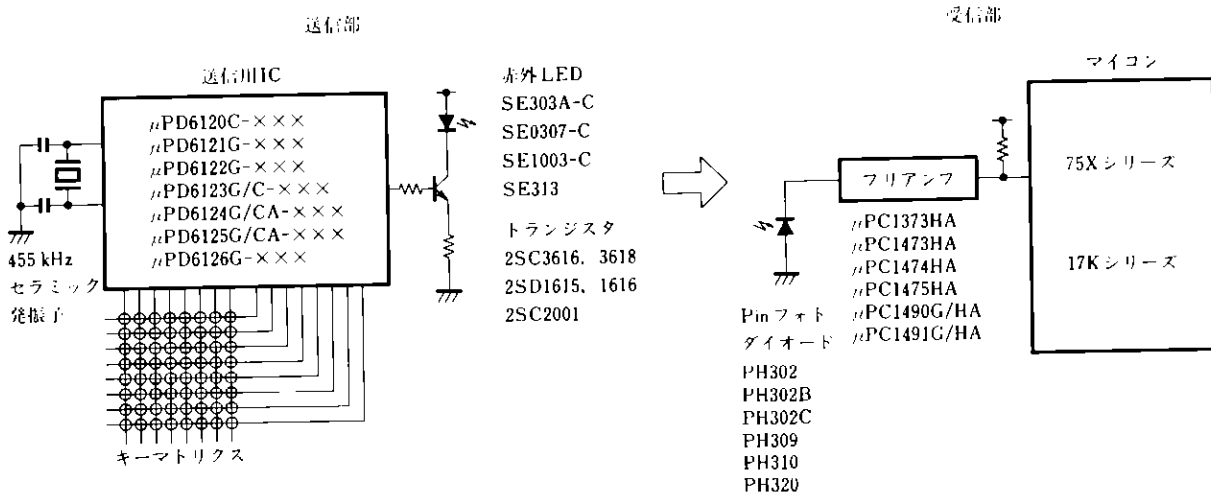


P8HA-254B

8ピン・プラスチック SOP (225 mil) 外形図(単位: mm)



リモート・コントロール用関連デバイス



(メモ)

本製品は外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等（または役務）に該当しますので、日本国外に輸出する場合には、同法に基づき日本国政府の輸出許可が必要です。

○文書による当社の承諾なしに本資料の転載複製を禁じます。  
○この製品を使用したことにより、第三者の工業所有権等にかかわる問題が発生した場合、当社製品の構造製法に直接かかわるもの以外につきましては、当社はその責を負いませんのでご了承ください。

NEC 日本電気株式会社

Table listing branch offices and their phone numbers. Includes entries for Tokyo, Osaka, and various regional offices.

Table listing branch offices and their phone numbers. Includes entries for various regional offices and specific locations.

(技術お問い合わせ先)

Table with technical support contact information, including phone numbers for different departments and locations.

インフォメーションセンター FAX(044)548-7900 (24時間受付)